

3 いのちを大切に  
(1) いのちを大切に

P.90~99  
3-(1)

1 この内容項目のページの特徴

本内容項目は、学習指導要領で示されている道徳の指導内容の重点の一つである自他の生命を尊重する心を育てることと密接に関連している項目である。  
生命尊重については、道徳教育の目標に、生命に対する畏敬の念を培うことが示されているように、豊かな心を育む上で根本に置かれる重要な課題の一つである。  
九十一ページには、自分が生まれたときの話を家の人から聞き取って記入する欄や自分の名前を丁寧に書く欄がある。また、九十二・九十三ページには、生きていることを実感させるような場面についてのイラストが描かれている。九十四・九十五ページの読み物コラム「おはかまいり」では、死についても取り上げ、生命の連続性を低学年なりに考えることができるようになってきている。

2 活用のポイント

低学年の段階では、生命の尊さを知的に理解するよりも、生活経験の中で生きていることを感じ取ることが中心になる。心臓の鼓動、睡眠、食事、学校生活など極めて当たり前のことで見逃しがちな「生きている証」を実感させるようにして、生命の大切さを自覚できるようにしていきたい。

活用することができる。様々な機会を捉えて、児童に「生きている証」を継続的に実感させ、生命を大切にすることを促したい。

事例

- ① 九十二・九十三ページを活用して、自分が生きていることを感じる多様な場面を想起する。
- ② 読み物資料「ハムスターの赤ちゃん」を読んで話し合う。
- ③ 生命の大切さを感じた経験を振り返って話し合う。
- ④ 「手のひらを太陽に」を読んで、歌詞の意味を考えた後、みんなで歌う。

家庭との連携

九十一ページに、自分自身が生まれたときの話を、家の人に聞いて書き込むことで、自分の生命がどれほど大切かというところをより深く実感することができる。家の人に



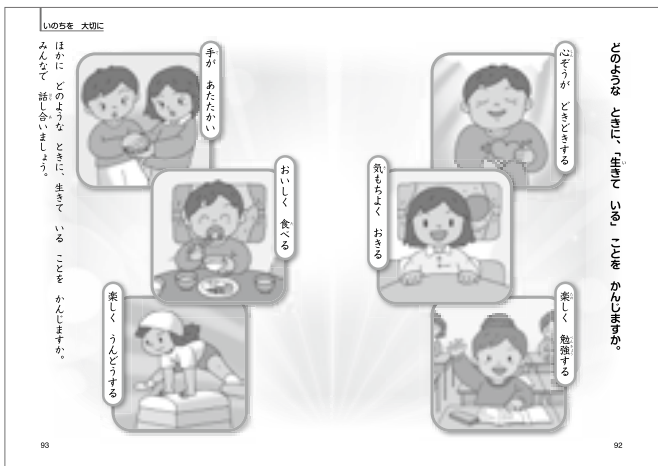
P.90~91

3 活用場面例

道徳の時間

九十二・九十三ページのイラストをもとに、生きていることを感じる考えたり、一〇〇・一〇一ページの「手のひらを太陽に」を歌い、生きている喜びをみんなで分かち合ったりすることができると。

また、これらのページは、道徳の時間はもちろん、家庭と連携したり、読み聞かせで活用したりするなど多様な学習場面で



P.92~93

生きていることを喜び、生命を大切にすることを心をもつ。

とつても、改めて生命の尊さ、存在のかけがえのなさを再確認することのできる機会となる。

名前には、親の子供に対する願いが込められていることを知り、児童は生きている喜びを実感して、生命の尊さを自覚することができる。

家の人の願いを知った上で、九十一ページに心を込めて丁寧に自分の名前を書き、生きていることの喜びを感じることをできるようにする。

また、家庭での読書などで、九十四・九十五ページの読み物コラム「おはかまいり」を読んで、つながっている生命についても家の人と一緒に考えることができる。

なお、児童を取り巻く家族の構成や家庭環境に配慮しつつ、児童一人一人が生命の尊さ、つながり、かけがえのなさについて感じ取ることができるようにしたい。



P.94~95

1 資料の特性

本資料は、お母さんハムスターが赤ちゃんハムスターを大切に育てる様子を観察している主人公の視点で描かれている。資料には、赤ちゃんハムスターの確かな成長と変化に、大きな喜びを感じている主人公の気持ちが表示されている。

ハムスターの赤ちゃんの誕生に対する心配や感動、成長に対する大きな喜びを通して、生命の大切さについて考えることができる資料である。

2 指導上の留意点

本内容項目においては、主として人間の生命の尊さについて考えを深めることになるが、生きているもの全ての生命も大切にしながら考えなければならぬ。そのため、本資料の活用にあたっては、ハムスターの様子を守っている主人公を児童自身に重ね合わせて、その気持ちを考えさせるようにする。そして、生きていることに喜びを見いだし、生命の大切さを自覚していくことができるように学習展開を工夫していく必要がある。

3 展開例

【ねらい】

生きていることに喜びを見いだし、生命を大切にしようとする態度を育てる。

育ってほしいよ。

- ・ ずっと大切に育てていくからね。
- ④ 九十二・九十三ページを見て、他に、どのようなときに生きていることを感じるか話し合う。
- ・ 大きな声で笑っているとき。
- ・ 友達と遊んでいるとき。

事例②

生命を守り、育てていこうとする思いを考える展開

【主な学習】

- ① お母さんハムスターは、産まれたばかりの赤ちゃんハムスターを見て、どのようなことを思っていたのだろうか。
- ・ 生まれてきてくれてありがとう。
- ・ 元気に育ってね。
- ② どんどん大きくなっていく赤ちゃんハムスターを見て、お母さんハムスターはどのようなことを思っていたのだろうか。
- ・ これからもどんどん大きくなってね。
- ・ 赤ちゃんの成長がとてもうれしい。
- ・ すくすくと育って幸せだな。
- ③ 九十一ページを基に、自分が生まれたときの話について、家の人から聞いたことを紹介し合う。
- ④ 妊婦の方をゲストティーチャーとして招き、気を付けていることや生まれてくる赤ちゃんへの思いや願いを語ってもらい、話を聞く。

事例①

主人公の思いを通して、生きていることの喜びについて考える展開

【主な学習】

- ① 生まれたばかりの小さな赤ちゃんハムスターを見て、主人公はどのようなことを思っていたか。
- ・ 生まれてきてくれてうれしい。
- ・ 元気に育ってほしいな。
- ・ 毛も無いし、目も開いていないし、大丈夫かな。
- ・ 大きくなるか心配だな。
- ② お母さんハムスターの様子を見て、主人公は、どのようなことを思っていたか。
- ・ 強くかみ過ぎないかな。
- ・ 生まれた命をととも大切にしているな。
- ・ かむ力が強いのに、とても優しくかんでいる。
- ・ お母さんハムスターにとって赤ちゃんハムスターは宝物なんだ。
- ③ 赤ちゃんハムスターが成長している様子を見て、主人公はどのようなことを思っていたか。
- ・ 元気に育ってくれてうれしいな。
- ・ これからもすくすくと



三の視点 重点ページ

生きていることの意味

1 ハムスターの特徴

豊かな心の根本に置かれている重要な課題の一つであり、道徳の指導内容の重点である生命尊重に関連して、多くの児童になじみのある曲「手のひらを太陽に」の歌詞を紹介している。生きている喜びにあふれたメッセージを感じ取ることができるように、歌詞に込められた言葉の意味などを考えるようにしたい。

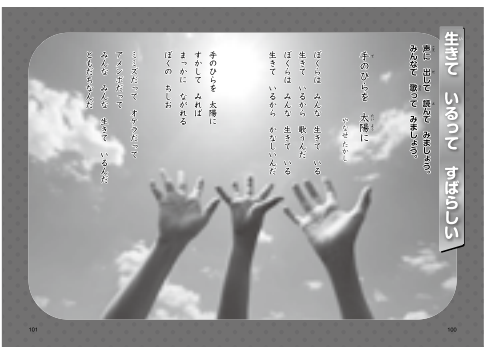
2 活用事例

■道徳の時間

道徳の時間の終末の段階で歌ったり、読んだりして活用することができる。

■日常生活

教室掲示として活用することで、生命尊重に関して継続的な意識付けを図ることができる。



P.100~101

P.100~101